

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス統計学Ⅱ	配当学年	2
講義名（コード）	ビジネス統計学Ⅱ	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	後期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	島田昭仁	授業形態	講義
成績評価教員	島田昭仁	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	人間が行ってきた推論を、どのようなアルゴリズムで分析すれば、機械的に実行できるかを構想できるようになる。
到達目標	統計ソフトJMPを使って、BigDataを分析でき、予測モデルを描けるようになること。
全体の内容と概要	前半は統計ソフトJMPの様々な分析手順を学ぶ。後半は、各自がJMPで実際に何かを分析し、発表する。
授業時間外の学修	後半で各自の分析発表があり、その準備に90分を与えるが、授業時間外でも2～3時間の作業時間がかかる。
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	講師	授業内容
1	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ①グラフビルダー
2	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ②三次元散布図
3	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ③多変量の相関
4	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ④主成分分析
5	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ⑤クラスター分析
6	島田 昭仁	統計ソフトJMPの使用法 ⑥予測モデル（決定木分析）
7	島田 昭仁	中間とりまとめ
8	島田 昭仁	JMPを使って何かを分析してみよう
9	島田 昭仁	JMPを使って何かを分析してみよう
10	島田 昭仁	発表のための作業時間
11	島田 昭仁	発表と講評（8人）
12	島田 昭仁	発表と講評（8人）
13	島田 昭仁	発表と講評（9人）
14	島田 昭仁	期末試験
15	島田 昭仁	期末試験のふりかえり

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	